

日本薬学会九州支部講演会

演者：工学院大学工学部応用化学科・南雲紳史教授

演題：ビニルエポキシドから始まったケミストリー

平成24年6月15日（金）15時より

薬学部第4講堂

カチオン経由の環化反応は古くより活発に行われてきた領域ではあるが、新たに生じる立体化学の制御や中大員環構築への応用など未だ解決すべき課題は多く残されている。私は、エポキシ不飽和エステルやイミニウムカチオンの分子内 Friedel-Crafts 反応に取り組んできた中で、奥深いカチオンケミストリーの世界に魅了されてきた。本講演では、これまでに開発したタンデム環化反応や中員環形成反応を紹介しながら、カチオンケミストリーの魅力について述べる予定である。

問い合わせ先：九州大学大学院薬学研究院薬物分子設計学分野

末宗 洋 (092-642-6603)